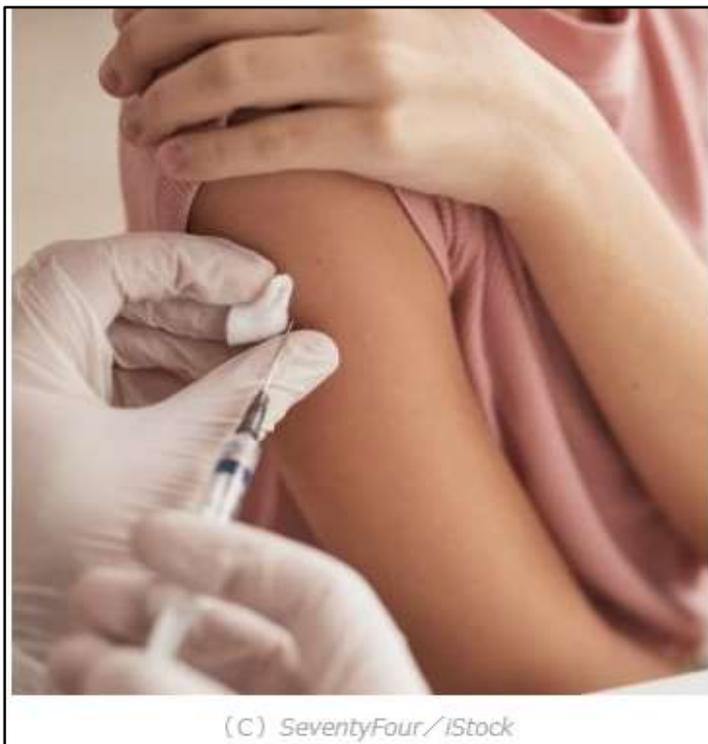


コロナワクチン接種後死亡は 2059 件に 初の乳幼児用ワクチン死亡事例も

4/29 日刊ゲンダイ



厚生省は今年 28 日、新型コロナワクチンの接種と副反応との関連性を議論する専門部会を開催した。

同会に提出した資料によると、予防接種開始（2021 年 2 月 17 日）から 22 年 3 月 12 日までに新型コロナワクチン接種後の死亡として報告・評価されたのは 12 歳以上で 2054 件（ファイザー社製 1829 件、モデルナ社製 224 件、武田社製ノババックス 1 件）。ファイザー社製 5～11 歳用 3 件があった。このほかに、2022 年 9 月 30 日で使用中止となったアストラゼネカ社製 1 件がある。

なお、2023 年 3 月 13 日から 4 月 27 日までに乳幼児（6 ヶ月から 4 歳

用）用ワクチン接種後の死亡として初報告された 1 歳男子の事例が 1 件あった。このため、28 日の専門部会が把握した新型コロナワクチン接種後死亡数は合計 2059 件となった。前回 3 月 10 日の同部会で公表された評価件数は 22 年 1 月 22 日までの接種後死亡事例 2002 件（ファイザー社製 1782 件、モデルナ社製 215 件、武田社製ノババックス 1 件、アストラゼネカ社製 1 件、ファイザー社製 5～11 歳用 3 件）であった。つまり 49 日間に 57 件増えたことになる。

専門部会では 22 年 3 月 12 日までに報告された 12 歳以上の 2054 件の死亡とワクチン接種との関連について、 α =ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの、 β =ワクチンと死亡との因果関係が認められないもの、 γ =情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの——と評価している。その結果は以下の通り。

▼ファイザー社製 α =1 件、 β =10 件、 γ =1818 件

▼モデルナ社製 α =0 件、 β =1 件、 γ =223 件

▼武田社製ノババックス α =0 件、 β =0 件、 γ =1 件

また、ファイザー社製小児（5～11 歳）用の 3 件については、いずれも「情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの」と評価されている。ちなみに乳幼児用ワクチン後の初死亡事例として報告された 1 歳男児は、2023 年 2 月 16 日にワクチン接種し、18 日に死亡した。男児はピアソン症候群の持病があり、腹膜透析を継続していたという。死亡時画像診断は実施されず、剖検は実施されなかった。

なお今回、同専門部会は「現時点においては、引き続きワクチンの接種体制に影響を与える重大な懸念は認められない」とした。

コロナワクチン接種後死亡 2001 件に…「因果関係が否定できない」を初認定

2023 年 03 月 11 日 日刊ゲンダイ

厚労省は今年 10 日、新型コロナワクチンの接種と副反応との関連性を議論する専門部会を開催した。同会に提出した資料によると、予防接種開始（2021 年 2 月 17 日）から 22 年 1 月 22 日までに新型コロナワクチン接種後の死亡として報告・評価されたのは 12 歳以上で 1997 件（ファイザー社製 1782 件、モデルナ社製 215 件、武田社製ノババックス 1 件）。ファイザー社製 5～11 歳用 3 件だった。このほかに、2022 年 9 月 30 日で使用中止となったアストラゼネカ社製 1 件がある。このため新型コロナワクチン接種後死亡数は合計 2001 件となった。

専門部会では 22 年 1 月 22 日までに報告された 12 歳以上の 1997 件の死亡とワクチン接種との関連について、 α =ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの、 β =ワクチンと死亡との因果関係が認められないもの、 γ =情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの——と評価している。その結果は以下の通り。

▼ファイザー社製 α =1 件、 β =10 件、 γ =1771 件

▼モデルナ社製 α =0 件、 β =1 件、 γ =224 件

▼武田社製ノババックス α =0 件、 β =0 件、 γ =1 件

また、ファイザー社製 5～11 歳用の 3 件については、いずれも「情報不足等によりワクチンと死亡との因果関係が評価できないもの」と評価されている。

なお今回、同専門部会としては初めて「 α 」（ワクチンと死亡との因果関係が否定できないもの）を認定した。認定したのは、前回の同専門部会（1 月 20 日開催）で「評価中」とした 42 歳の女性のケース。この女性は、2022 年 11 月 5 日に 4 回目としてオミクロン株対応 2 価ワクチンを接種後に顔面蒼白となり、24 分後に心肺停止した。その後救急搬送先の病院で死亡が確認された。

審議では「本事例について行われた死後画像検査は非造影であり、血栓症等の評価に限界はあるものの、胸部の大血管内の血栓や肺梗塞を示唆する所見がない等、典型的な肺血栓塞栓症を示唆する所見は得られておらず、その他の疾患も含めて死因となりうる具体的な異常所見は同定されなかった。死亡に至る原因疾患の特定のために剖検所見が得られることが望ましいが、実施されていなかった。本事例から得られた画像所見等の情報の範囲内においては、ワクチン以外の原因として死因となる具体的な異常所見は同定されなかった。以上を総合的に判断すると、ワクチン接種と死亡との直接的因果関係は否定できないものとする」とした。